

2020年6月15日

特約店社長
ご担当者様

株式会社ヤマハミュージックジャパン

管弦打営業部

吹奏楽部の活動・器楽学習の再開に向けて実験を実施

動画「管楽器・教育楽器の飛沫可視化実験」を公開

管楽器・リコーダー・鍵盤ハーモニカの飛沫の観測結果を掲載

拝啓、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

標記の件、新日本空調株式会社の協力を得て、管楽器・リコーダー・鍵盤ハーモニカの演奏時の飛沫飛散状況を可視化する実験を行いました。

この実験では、発音方式の異なる4つの楽器群の中から、フルート、アルトサクソフォン、トランペット、ソプラノリコーダー、鍵盤ハーモニカを選択し、演奏時の飛沫の飛散距離や左右への広がりなどを観測、比較対象として、くしゃみ、発声を用いています。実験の詳細および結果は、実験動画とともに、ヤマハ公式ウェブサイト内「管楽器・教育楽器の飛沫可視化実験」に掲載します。

また今後は、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会（理事長 小澤俊朗）が主催する「#コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクト」に協力し、共同での実験実施や情報開示を進めてまいります。

本実験の結果が吹奏楽部の活動・器楽学習の再開に向けた指針の一つとなれば幸甚に存じます。

敬具

<記>

<実験要旨と概要>

- 発音源付近の飛沫の可視化
- 飛沫の距離の可視化
- 飛沫の左右への広がり可視化

- ・被験者 高校生3名、成人1名
- ・実験協力新日本空調株式会社
- ・協力一般社団法人全国楽器協会

※本実験は専門家の指導のもと、安全に配慮し実施しています。

※飛沫の量、飛散距離と左右への広がり個人差があり、環境などによっても異なります。

<実験結果>

ヤマハ公式ウェブサイト内「管楽器・教育楽器の飛沫可視化実験」をご参照ください。

https://jp.yamaha.com/products/contents/winds/visualization_experiment/

以上